

1 子どもの世界を大事にしたい

園庭には山が3つあります。山砂、川砂、粘土の山。大人は山の大きさしか気づかないかもしれませんが子どもたちは違います。粘土の山で団子をこねはじめ、川砂でサラサラにして何度も磨いてピカピカの泥団子を作ります。作り始めると砂の違いに気づき、大事にしたいから団子の置き場を探し始めます。



男子「ここは雨かからだからダメ!木の下がいい!」
女子「うん。。木の下暗くて怖い。。」
男子「(困った顔) せんせい、おくとこ作って!」
先生 「いいよ。(にこり)」

そして、手作りの団子置き場ができました。一日一日、団子がつるつるになって、もっともつとやりたくなる。そんな子どもの世界を大事にしたいと考えています。

そのために、使うものを自分で選べる環境も必要。いちいち大人に聞くのでは、興味の風味が落ちてしまうから。手押し井戸、お団子置き場、持ち運べる木の机。大人の都合で泥団子を勝手に掃除されたり、服が汚れるからやめてほしいなどと言わないでほしい。サッカーもできないような公園から世界を驚かす想像力は生まれなれないと思います。

教育目標

心と体のたくましい子を育てる

毛虫 飼ってるよ。。



ピーマン いいにおい

4 寄り添い、とことんやる

9月。運動会前の園庭で突然はじまった綱引き。30人の子供と一緒に2対2で別れる先生。そこからは大汗かきながらの大熱戦。いろいろな子どもが加勢にはいて真剣勝負は10分以上続きました。途中からは理事長先生も交じってよいしょ! よいしょ!
本当に大人げないですね。でも、それくらいで丁度いいと思っています。負けず嫌いな先生大歓迎! その楽しさが子ども達にうつるんです。子どもたちにとって、大人げないけれど、一緒にいると安心して安心できて、いつも一生懸命で、ちょっとすごいそんな先生でいたいと考えています。そして、女の先生、男の先生、新人、ベテラン、お母さん先生、いろいろな大人がいて、いろいろな子ども達に寄り添っている園でいたいと思っています。



ヨイショ! ヨイショ!

5 仲間と繋がる力と ところを育てたい

勉強のように結果を数値化できないのが残念ですが、子どもの時に経験したことが将来の価値観に大きな影響を与えます。親の背中を見て子供は育つように。だからこそ、友達のため、みんなのために汗を流す喜びを幼稚園の中で感じてほしい。きっと、この心の根っこが将来のいざというときに助けてくれるはず。運動会のクラス対抗リレー、発表会の劇の練習、そんな挑戦のなかで足の速い子が遅い子に走り方を教えたり応援したり、セリフを忘れた子に優しく耳打ちしてあげたり。今は、結果よりもそんな経験をたくさんしてほしい。時には、喧嘩もするでしょう。けれどそんなうまくいかない時の方が学びは大きいはず。昔は暗黙の了解だった、「子供の喧嘩に親は口を挟まない」に近いものが園でできればと思っています。



2 全身を使って遊びこむ

大人のように座って学ぶことも大事。けれど、この時期の学びには窮屈。すべては適切なタイミングで適切な環境を用意することが大事です。幼児期は、ぎこちない全身を巧みに駆使しながら五感をフル回転させて遊ぶなかで何倍も学びがあります。



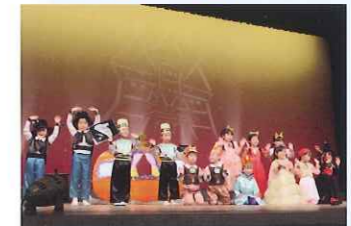
手で、丁寧に泥だんごをこすりながら育て、裸足で、泥や砂の地面を指で掘り、感触を感じ、鼻で、季節の花の匂い、雨上がりの匂いを感じ、目で、池のメダカやエビの泳ぎをじっと見つめ考えにふける、そして、秋にはほかほかのさつまいもをほおぼる。

こんな素朴な生活の中に、脳をぐいぐい刺激するよく働く頭になる種があると考えています。



3 本物の体験 本物の感動

本物の体験をみんなでいっしょに味わうから心に残ります。そこに大きな学びの種があります。当園では、季節の行事をバランスよく配置できるよう心掛けていますが、どれも本物感を大事にしたいと考えています。(見た目の綺麗さや派手さではありません) 七夕の笹を竹藪から切ってきたり、(本物はすぐに枯れてしまうけれど) さつまいもをまき窯とセイロで蒸かしたり、(煙りもくもくしてしまうけれど) 発表会を大人も緊張する文化会館でしたり、(お金がかかるけれど) どれも、子供たちが「やってみよう!」と思ってもらいたいし、不便の中から、「?や!」で心を震わせてほしいからです。不思議さに興味を持つ力、憧れる力、美しいものに想いを馳せる力、挑戦する気持ちなど本物のことでしか味わえないことがあると思っています。



6 基本を大事にする

大人になるとマニュアルではダメとよく言われる。けれど、基本がなければ応用はできません。三つ子の魂百まで。この時期こそ「ところの基本」と「動きの基本」を大事にしたいと考えています。自律と自立、自分のことは自分でやる、感謝、優しさ、頑張る力、規則正しい生活習慣、気持ちのいい挨拶、お手伝い、学ぶ楽しさ、こんなキーワードを、大事にしたいと思っています。園では、日常での指導、出席当番や給食当番などの当番活動など生活の中で1つ1つ丁寧に指導していきます。基本の習得に飛び道具はありません。ご家庭と連携して長い目でじっくりとやります。



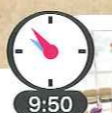
子どもたちの 1日



「おはよう!」元気な一日の始まり。まず、お部屋で持ち物を整理します。



準備が出来た子から外で元気に自由遊びの時間です!



お部屋で朝活動の時間です。毎日当番さんが出欠を職員室に教えに来てくれます。



主活動の時間。制作活動やお歌やピアノ、行事の練習などいろいろな活動。



楽しいお昼の時間。みんなと一緒にいただきます。



絵本などを聞きながら、帰りの時間までをゆっくりすごします。



降園の時間です。自分の降園時間までは自由遊びをします。預かり保育の子は園で17時までです。